

Key Word

「男女共同参画」に必要なキーワード



ピアサポート (peer support)

同じような課題や悩みを抱える人同士が集まり、対等な関係で互いに支えあうこと。ミーティング形式で実施されることが多く、参加者それぞれが体験などをありのままに語り、また他者の話を傾聴する。助け合う、相互支援するというつながり方であるから、感想や批判、助言や指導は行わないことがルールとされている場合が多い。DV被害者、乳がん経験者、シングルマザー、介護者など、様々なグループが信頼関係のもとに活動している。直面している問題の困難さに比例するように、社会生活では生きづらさや苦悩も大きくなりがちである。仲間が集い対等な人間関係の中でつながることによって、共感や新たな気づきを得ながら、課題解決や自立へ向かうために、自らの問題への対処能力を養うことができる。

Hot Spot

世界をインターネットでのぞく



Baby Pedia (ベビペディア)

<http://www.babypedia.net/index.html>

「ベビペディア」は、財団法人母子衛生研究会などが運営する育児に関わる情報を共有するコミュニティサイト。一般だけでなく専門機関も参加しており、母子が孤立することなく社会全体で励まし、支えあうことを目的としている。

今やSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)やツイッターをはじめ、インターネット上でのネットワークが盛んである。顔も名前も知らない者同士が情報を共有し、自由に意見をやりとりする、こうした気楽な関係性がかえって本音を出せる場となり、濃密な人間関係を築くツールとなっている。

特集関連の本リスト

- ◆コミュニティ・カフェをつくろう!
WAC 編, 学陽書房, 2007年【335円】
- ◆ハッピー・ワーキングマザーBOOK
ムギ畑編, 講談社, 2006年【366.3円】
- ◆とびはねて町に行く 「谷根干」10人の子育て
森まゆみ著, 集英社文庫, 2004年【914円】
- ◆八番筋カウンスル
津村記久子著, 朝日新聞出版, 2009年【913円】
- ◆セルフヘルプ・グループとサポート・グループ実施ガイド 始め方・続け方・終わり方
高松里著, 金剛出版, 2009年【369円】
- ◆その後の不自由 「嵐」のあとを生きる人たち
上岡陽江・大嶋栄子著, 医学書院, 2010年【493円】
- ◆つながりの作法 同じでもなく違うでもなく
綾屋紗月・熊谷晋一郎著, NHK出版, 2010年【369円】

特集関連の行政資料

「女性まちづくり探検隊」

豊中市女性問題推進本部, 1992年

豊中が、どんな街になったら住み良いだろう。地域・まちづくり活動への女性の参加促進を目的とする豊中市の事業が、20年前に実施された「女性まちづくり探検隊」である。参加した市民が阪急豊中駅・岡町駅・曾根駅周辺を探検し、結果をパネルと冊子とにまとめた。

そのときの課題提起は、①女性の問題意識を共有し、それを活かす制度の確立、②生活者としての体験に基づく考えを育てる活動拠点や事業の充実、③女性がもっと様々な分野で社会参加できるきっかけづくり、という3点。

現在は、点として存在するのではなく、過去から未来へと続く流れの途中にある。この冊子と現在を見比べ、私たちがどんな20年を経てきたのかを確認することは、進むべき方向を自覚することでもある。

特集関連のビデオ

夢へのパスポート

～まちづくりにかける元気な女性たち～

内閣府男女共同参画局, 2007年

「勇気・応援・情熱、3つのチケットが揃うと、すべての女性の夢の扉が開く」

まちづくりへの夢を抱く元気な女性たちの熱い想いと、専門分野のアドバイザーが持つ知識で、誰もが笑顔で幸せに暮らせる明日をめざして人とまちを活性化するプロジェクトだ。子育てNo.1のまちづくりという夢を抱く女性たちが活動の一環として自作の劇を演じる情熱には、圧倒されると同時に、観た者の想いをひとつにする引力のようなものを感じる。

三例が収録されており、地元の伝統食によるまちおこしをめざす女性たち、団塊世代の男性たちの第二の人生をサポートしながら元気なまちづくりを夢見る女性たちの活動も紹介されている。一途に打ち込む姿勢に、夢を叶えてほしいと願わずにはいられない。



本作品を企画した内閣府男女共同参画局では、女性を中心となっている地域づくりを応援しており、地方公共団体の協力を得ながら、アドバイザーの派遣などによってまちづくりにかける女性たちの「夢の実現」をサポートしている。

地域づくり事例集をDVD化しており、他にも2作品を発行している。

◆体験! 発信! チャレンジ・ストーリー 2006年

◆明日への道しるべ 2008年

3作品の貸出可、非営利であれば上映もできます!